



絵画・写真展 最優秀賞作品 「進化進行中 野々市市」

市章

旧野々市町、富奥村の合併5周年を記念して、昭和35年6月15日に制定されました。

市章は、平仮名で「のの」を組み合わせ分銅を形成し、市の融和発展を象徴した簡潔清爽な意匠となっています。



市の花木

市の花木は椿(ツバキ)です。

(昭和49年6月19日選定)

椿には「野々市」という、本市の名称を冠した白にうつくし^{とき}朱^{いろ}鶯^{いろ}色がかった美しい品種があります。



市の宣言

愛と和の都市宣言	昭和49年6月19日	決議
平和都市宣言	昭和59年3月19日	決議
ゆとり創造宣言	平成 2年6月22日	決議
健康都市宣言	平成 2年6月22日	決議
美しいまちづくり宣言	平成 9年9月19日	決議



発刊のごあいさつ

私がまだ子どもだった頃、野々市の多くは豊かな田園でした。

春のたんぼにはカエルやドジョウが泳ぎ、夏にはホタルが飛び交い、秋になれば赤トンボが空いっぱい舞い、冬には雪と親しみ遊ぶ、そんなまちでした。

となり近所とは、まるで家族のようなおつきあいがあり、みんなで子どもたちの遊びを見守っている、そんなまちだったように思い出します。

私が小学生であった昭和45年前後だったと思いますが、家々が建ちならび、まちがにぎやかになりはじめました。

それから40年あまりがたち、まちはますます大きく発展し、平成23(2011)年11月1日には、石川県内で11番目の市になりました。

私たちを取り巻く時代や社会は大きく変わり続けています。

毎日の暮らしは昔に比べて格段に便利で快適になり、これからもますます便利で快適になっていくことでしょう。

先人たちが私たちに残してくれた歴史と伝統、そして、築き上げてこられたまちづくりをしっかりと受け継ぎながら、野々市の“市”にふさわしい市場のように人々やモノ、情報や知識などが集い、にぎわうまちづくりを、また、野々市に生まれ、育ち、住むことに誇りと生きがいを感じることができ、そんなただひとつの私たちの“野々市”を、市民の皆さんといっしょに創っていきたいと思っています。

また、この計画を策定するにあたって、ご協力をいただいた多くの皆さんには、厚く感謝を申し上げます。

誰もが憧れ、誰もが住みたくなる、そんな“野々市”をみんなの力で創り上げましょう。

平成24年3月

野々市市長 粟 貴 章

